



全力を尽くします

校長 柳 雅之

2月末に学校休校要請が政府から出されてから3ヶ月間、学校は休校していました。6月1日からやっと学校が再開できて、生徒たちと会うことができ、そして授業ができて、私たちは万感の喜びを感じています。私たちは学校が好きで、生徒たちが好きで、そして生徒と一緒に学ぶことができ、それで教師という仕事を選んだことをあらためて確認することができました。

今、保護者の皆様方の一番の心配事は、これからの学校生活はどうなるのか、特に授業はどうなるのか、学力はどう付けてくれるのか、ということかと思えます。ご安心ください。授業ができなかったこの期間のフォローは、私たちが責任をもって行います。そのための教育課程、授業の計画等、万全の準備をしています。指導法の工夫や改善、これをさらに実践していきます。

また、学校の各種行事、体育祭や合唱コンクール、これらの学校行事については今までと全く同じというわけにはいかなくなりました。しかし、新しく装いを変えながらも、内容を充実させていきます。

新型コロナウイルス感染症は、我々の生活を一変させ、不安を増大させましたが、一方で様々なことに気づかせてくれました。例えば、感染拡大のために外出の自粛が求められましたが、これは、人間が生まれながらにして持っている基本的な人権の一つ、「自由権」が奪われた形になります。ですから、「感染するのは自分自身だから、自分で責任をとる」という、「自己責任」が主張されるのは理解できます。しかし、外出の自粛は、自分の感染を防ぐだけでなく、人にも感染させないという「社会的責任を伴う」と捉えれば、人間は「個人的存在」だけでなく「社会的存在」でもあることを認識することができます。このように考えると、「自己責任」の本質とは何か、あらためて気づかせてくれました。

「コロナ世代」などという言葉が生まれようとしています。この言葉を「授業を十分に受けられなかった学力不足の世代」という否定的な意味ではなく、「このコロナ禍を乗り切ったたくましい世代」にしたいと考えています。

本校は、「新しい生活様式の確立が学校を救う」を合い言葉に、新たに一步、踏み出しました。保護者、地域の皆様、生徒たちの輝く未来を求めて、共に歩んでいきましょう。よろしく申し上げます。



校門が花で彩られました

6月12日(金)赤中応援支隊の方々のご協力のお陰で、雨が強くなる前に、緑化委員を中心に花を植えることができました。

また、今回花を植えるにあたり、加村園芸さんから大量の花を寄付していただき、色とりどりの花を植えることができました。

花だけでなく、こうした人たちのご厚意が、新型コロナウイルス感染症で気分がふさがちになる私たちの心を癒やしてくれました。有り難い限りです。



地域に潤いを！

6月16日(火)本校の3年生が、赤中前の通りの街路樹にマリーゴールドを植えました。

例年、この時期に3年生が実施する本校の恒例行事ですが、「こうした時だからこそ地域に潤いを届けよう」と、今までとは違ったねらいを添えて実施しました。

今回もマリーゴールドを植えるにあたり、地域の方が街路樹の草取りをして下さり、当日はスムーズに活動ができました。更に、地域の方が花に水をあげ、大事にしてくださり、この活動が地域に根ざしていることを大変嬉しく思います。こうした活動を通して、人と人とのつながりを感じることができました。万謝!!



新しい生活様式による学校の様子

本校では新型コロナウイルス感染症に対応した学校再開ガイドラインに基づき、

- ①感染源を絶つ
- ②感染経路を絶つ
- ③抵抗力を高める



の3つのポイントを基に、我々教職員も含め、生徒たちに新しい生活様式を求めながらこの一ヶ月間教育活動を実施してきました。

ご家庭のご協力により、家庭での検温、マスク着用、手洗い、手指消毒はずいぶんと習慣化されてきたように思います。又、お子さんの体調不良の場合は、もしものことを考え欠席をさせるなど配慮していただきありがとうございます。(出席停止扱いとなります)

本校では着替えて密になりやすことから、ジャージによる登下校を実施しています。そして、給食・清掃の前後は全校一斉に手洗いをしなければならないことから、そのための時間を確保するために45分授業を実施しています。また、検温チェックを確実に実施するため、当分の間、部活動の朝練習を見合わせています。

学校が再開したことにより、生徒たちの生活リズムは戻ってきたように感じます。ただ、授業時数の確保から、当分の間、月曜日に授業時数を1時間増やし、平日は6時間授業、そして毎日放課後消毒作業をすることから、生徒とふれあう時間が少なくなる状況がしばらく続きます。また、3つめの感染対策のポイントである「抵抗力を高める」ためには、ご家庭の協力が不可欠です。十分な睡眠、適度な運動、バランスの取れた食事、そして家族の会話を心がけるようお願いします。

新しい生活様式の確立に向けてお願い

新型コロナウイルス感染症から生徒たちを守り、生徒が安心・安全な学校生活を送ることができるよう、ご家庭においても「新しい生活様式」を踏まえた右記の取組にご協力をお願いします。

「コミュニティスクール」

スタートしました。

6月29日(月)に第1回学校運営協議会が行われ、その会合で以下の学校運営協議会委員が鴻巣市教育委員会より委嘱されました。

コミュニティスクールとは、保護者や地域の方々等に学校運営に参画、支援していただくことで、互いの信頼関係を深め、学校・家庭・地域が一体となって学校運営の改善及び生徒の健全育成に取り組むことを目的としています。本市では鴻巣東小、吹上小に次いで3校目で、先進的な学校運営に取り組んで参ります。ご理解、ご協力のほどよろしく申し上げます。

【学校運営協議会委員】(敬称略)

会 長	中田 博久	民生委員
副会長	石崎 恵子	主任児童委員
委 員	富田 友子	赤中応援支隊代表
委 員	志賀 周子	埼玉県教育アドバイザー
委 員	羽鳥 守	赤見台自治連合会顧問
委 員	吉田 憲司	箕田公民館館長
委 員	木畑 英記	PTA 会長
委 員	柳 雅之	校長
委 員	丸岡 聖典	教頭
委 員	須永 寛久	教務



1 毎日の健康観察

- ・登校前に検温、チェックカードに記入、押印

2 手洗いの励行

- ・家に帰ったらまず手や顔を洗う



3 咳きエチケットの徹底

- ・咳、くしゃみをする際のエチケット

4 3密の回避

- 「密閉」の回避

- ・こまめな換気



- 「密接」の回避

- ・マスク着用の習慣化



- 「密集」の回避

- ・身体的距離の確保



5 抵抗力を高める

